

防災対策

優先箇所と実行計画は

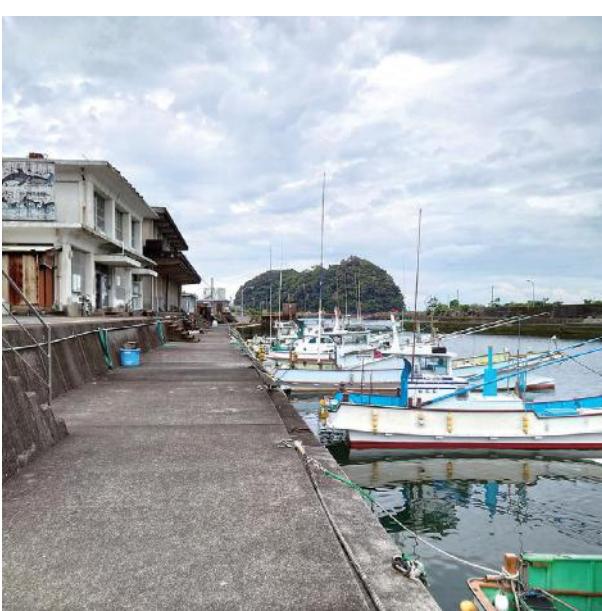
8 河川の河床掘削を予定



やま さき まさ お
山崎 正男 議員

問 行政は地域住民の要望を踏まえ、どのような方策を考えているか。
また、認識している優先すべき防災箇所と今後の実行計画を伺う。

答 森田建設課長
堆積土砂の取り除きは、優先順位の検討後、対応をしている。



現在の佐賀漁港

問 行政は漁業関係者の意思をよく知ることが大事だと考える。漁業者の悩みを聞くには対話が必要ではないか。

答 今西海洋森林課長
担当係が月2回以上の現地での目視点検等を行

漁業振興
対話が必要では現状を把握し進める

者との対話等を行い全般の聞き取りを行っている。各支所長と地区委員より要望等を聞き取り、施設整備を進めている。

佐賀漁港全体の施設補強等も、平成21年度より

全体の機能保全計画を県が策定し、毎年実施している。

今後、積極的に現場に出向き、状況を把握して地元漁協関係者と率直に会話をを行つて漁港の整備事業を進めていきたい。

問 佐賀地区の高台移転構想を考えるべきではないか。

答 西村企画調整室長
課題解消に向けた条件整備が整えば、その段階で計画的に推進していきたい。

津波対策
高台移転の構想は条件が整えば推進

問 ワクチン接種の時期と場所を町民にもっと詳しく知らせて安心させるべきではないか。

コロナ対策
ワクチン接種
安心な説明を
集団接種は
予約券で確認

答 佐田健康福祉課長
高齢者の集団接種は、6月、7月の土、日曜日を中心にして接種出来るよう日程調整をした。6月中には予約券が届くので、その券にて日時、接種場所等の確認をお願いしたい。

高齢者への集団接種が終了すれば、65歳未満の町民への接種を開始する。



被災前の高台整備が望まれる（佐賀地区）